

海外研修報告書

中南米2006.1～3

PERU.MEXICO.GUATEMALA.HONDURAS

多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科

石井茂

20060505

2006年 H18.1/31～3/3 ペルー、メキシコ、グアテマラ、ホンジュラスにて

1997～2002年にかけてヨーロッパ各地での写真取材と作品発表の継続として、身体的感覚を喚起させる石の造形を対象に、写真行為をとうしてそれらと向かい合うことによって、本来対象が持っている歴史的文化的背景を超えた美的な文脈に置き換えることによって起こる表現の可能性を探ることを目的にしている。

ペルー(PERU)

「オリヤンタイタンボ」 Ollantaytambo

クスコから 88Km 聖なる谷と呼ばれる地のほぼ中央に位置する。オリヤンタイタンボ遺跡は同名の村の背後にある。急斜面に作られた段々畑の脇の階段を上り詰めると、広場がありインカの石組みが周辺に続いている。広場には 6 個の巨石を組み合わせた不思議な建造物が残っている。高さ 4 m、幅 10m、奥行き 1 m、作りかけの神殿の一部だとか太陽の光を反射させるための鏡だとか言われているが実際は解っていない。巨石の結合部分には細い石が使われていて、クスコなどに見られる他のインカの石組みとは異なる手法が興味深い。眼下に広がる村はインカの様式やスタイルを今も残して、インカ時代の灌漑用水路や下水道が今なお使われている。

「マチュピチュ」 Machu Picchu

クスコからウルバンバ川にそって 114Km 下ったアグリス・カリエンテスの町からバスで山の険しい斜面を 30 分ほど登っていくと、失われた空中都市と呼ばれるマチュピチュ・ブエントス遺跡に到着する。インカの秘密の都市ビルカバンバに関する古い記録をたよりにアメリカの歴史学者ハイラム・ビンガムによって 1911 年に発見され 400 年の眠りからさめたマチュピチュの総面積は 5 K 平米、その約半分が斜面となっている。遺跡の周囲の高さは 5m、厚さ 1.8m の城壁をめぐらせた要塞形式。遺跡の最も古い部分は 2000 年以上前のものとも言われ、少なくともイン

カ以前から存在していたと考えられる。住居跡は細長い高台に並び、それぞれの家は小さく、入り口が狭い通りに接している。建築は頑丈だが稚拙な感じがする。それとは対比的に儀式を行ったと思われる場所は、極めて高度な技術で作られており、ジグゾーパズルのような複雑な石組みの完璧な構造となっている。巨大な多角石や切り石の角はレーザーで削ったかのような鋭さを持っている。遺跡に点在する自然石も数カ所で全体のデザインの中に巧みに組み込まれているのも印象的である。遺跡は「農地管理人住居跡 Viviendasu de los Guardianes」、「段々畑 Andenes」、「17 の水汲み場 Las Fontanas」、「陵墓 La Tumba Real」、「太陽の神殿 Templo del Sol」、「女王の宮殿 Aposento de la Nusta」、「神聖な広場 と 3つの窓の神殿 La Plaza Sagada / Templo de Las Tres Ventanas」、「インティワタナ Intihuatana」、「市街地への入り口 Puerta de Ingreso a la Ciudad」、「葬儀の石と墓地 La Poca Funeraria / Cementerio Superior」、「インカの橋 Puente del Inca」、「貴族の住居区と石臼 Tumbo Real」、「コンドルの神殿と牢獄 Grupo del Condor」などから構成されている。

「クスコ」Cuzco 周辺

「サクサイワマン」Sacsayhuaman

サクサイワマンの古代城壁はクスコのすぐ北側にある。遺跡に続く階段を登り、巨人のために作られたような石の門を通り抜けると、ジグザクになった巨大な石壁が続いている。切り出された石のひとつは、高さが 8.53m もあり、重さは 361 トンあるといわれる。宗教的なものなのか要塞なのかはっきりしないが、クスコの町が一望できる位置にありその管理の役割もしていたと思われる。遺跡の近くの巨大な自然石の裏に地下に潜る入り口があり、この地下道はクスコのプラザにあるカテドラルの地下、サント・ドミンゴなどの町の要所に続いているといわれている。

「ケンコー」Qenqo

サクサイワマン遺跡から徒歩で 15 分。石を組み合わせた建造物ではなく、岩を掘って創られている。インカ帝国の祭礼の場といわれる。ピューマが浮き彫りにされた巨石を中心に、壁面が半球状に広がり、上に登ると、生け贄の血を流して占いをしたというジグザクの溝が掘られていて、岩全体で一つのモニュメントとなっている。

「タンボマチャイ」Tambo Machay

「サントゴミンゴ(コリカンチャ)教会」Iglesia y Convento Santo Domingo

「リマ」Lima 周辺

「天野博物館」Museo Amano

天野芳太郎氏が長年に渡って収集、研究した土器、織物などを展示する博物館。1964年に設立された。チャンカイ文化を中心にしたプレ・インカ、インカ、各文化の土器を系統だてて展示。チャンカイの土器の数は数万点に達して個人のコレクションとしてはペルー最大。展示数約300点はほんの一部。チャンカイの織物のコレクションも充実していて、毛糸や木綿を使った織物、編み物やレース編みなどの保存状態もよく、その織り方のすばらしさだけでなく、デザイン性の豊さは目をみはるものがある。

「国立博物館」Museo de la Nacion

ペルー文化庁が管理する総合博物館。コレクションの数や規模はペルー最大。解りやすく機能的にレイアウトされた館内には、プレ・インカ、インカ時代の様々な展示物が地域別、文化別に展示されている。それぞれに遺跡の写真のパネルや復元した遺跡の一部などを使用した展示物はその特徴を視覚的に伝えることに力点が置かれている。中でもマチュピチュ、オリヤンタイタンボなどの模型は精巧にできていて全体の様子がよくわかる。

「国立人類学考古学歴史博物館」Museo Nacional de Antropologia Arqueologiae Historia del Peru

「ラファエル・ラルコ・エレラ博物館」Museo Rafael Larco Herrera

メキシコ (Mexico)

メキシコシティー周辺

「テンプルマヨール遺跡」Templo Mayor

「国立人類学博物館」Museo Nacional de Antropología

世界でも有数の規模と内容を誇る大博物館。テオティワカン、マヤ、アステカなどの遺跡の発掘品を選びすぐって展示。各地に点在する遺跡の重要な壁面や彫像などは、現地よりもここに集められている。

一階 考古学フロア

第2室 人類学入門 Introdaccion

第3室 アメリカの起源 Pobiamiento de America

第4室 先古典期 Preclasico

第5室 テオティワカン Teotihuacan

第6室 トルテカ Tolteca

第7室 メヒカ(アステカ) Mexica(Azteca)

第8室 オアハカ Oaxaca

第9室 メキシコ湾岸 Golfo de Mexico

第10室 マヤ Maya

第11室 西部 Occidente

第12室 北部 Norte

二階 民族学フロア

「テオティワカン」Teotihuacan

メキシコ・シティから 50Km 北にあるテオティワカン遺跡は古代最大の宗教都市国家といわれている。山々に囲まれた平地に太陽のピラミッドと月のピラミッド、二つの巨大な記念碑は「死者の道」と呼ばれる道に沿って並んでいる。繁栄の頂点にはおそらく 20 万人の人口を擁したといわれるこの都市で、神官たちは宗教祭事を正確におこなうための高い数学、天文学の知識を繰っていたが、彼らはどこから来て、8世紀頃の謎の滅亡とともにどこへ行ってしまったのかは、まだ解明されていない。

「メリダ」Merida 周辺

「ウシュマル」uxmal

メリダから南へ 80Km 鬱蒼とした森の中にある古典期に栄えたマヤ文明を代表する遺跡は、プウク様式(puuc マヤの言葉で、ユカタン半島中央の丘陵地帯のこと)の建造

物で知られている。その特色は建築物の壁一面に彫刻を施した石を組み合わせ、複雑なモザイクや蛇などのモチーフで華麗に、そして過剰に装飾している点だ。特に河川のないこの地方は生活用水を雨水にたよっていたため、遺跡の神殿はおびただしい数のチャック(雨神)像によって飾りたてられている

「カバー」Kabah

「チチェン・イツァー」Chichen Itza

ユカタン州北部には数々の都市の跡が点在するが、チチェン・イツァーは 200 年以上にわたってユカタンの芸術、宗教、経済の中心だった。チチェン・イツァーとはマヤの言葉で泉のほとりのイツァー人の意。半島最大のセノーテ(聖なる泉)を中心に栄えたことからきた名前だといわれている。遺跡群はマヤ独自の特徴が顕著な6世紀頃のマヤ古典期に属する「旧チチェン」とトルティカ文化の影響を受けた 10 世紀以降の後古典期に属する「新チチェン」の2つのエリアからなっている。ユカタンの中央高原の覇権を握った戦闘部族、トルティカ人の影響をうけて、旧遺跡の雨神チャックをひたすら祭り上げた素朴なモチーフに好戦的な兵士の像や生け贄のドクロ、トルティカの象徴であるククルカン(羽根毛の蛇)が新たに描き加えられるようになる。30m の高さを持つ完璧な階段式のピラミッドはククルカンの神殿(El Castillo)。四つの階段はそれぞれ 91 段あり、それに頂上の階段を含めると、太陽暦の一年間の日数と同じで、ちょうど 365 段になる。さらにこの古代神殿の幾何学的デザインと方位はスイス時計なみの精度を持っていて、劇的で謎めいたある目的をもって設計されている。春分と秋分の二回、時計のように正確に形作られる三角形の光と影を利用し、北側の階段において巨大な蛇が身をくねらせるように見せる。この幻影は正確に3時間22分継続される。戦士の神殿(Templo de los Guerreros)は三層の構造を持つ神殿を石柱群が囲み、上段の入り口には、生け贄の心臓を捧げたチャック・モールの偶像が横臥し、強烈で冷酷なエネルギーを放ちながら、その目は暗黒、死を意味する西方に向けられている。遺跡はその他、頭蓋骨の台座「ツォンパントリ El Txompantli」、神格化された動物「ジャガーの神殿 Templo de los Jaguares」、宗教儀式としての競技が行われたスタジアム「Juego de Pelota」、聖なる泉「セノーテ Cenote Sagrado」、古代マヤの天文台「カラコル El Caracol」、プウク様式の浮き彫りで飾られた「尼僧院 Casa de las Monjas」、スケールの大きいピラミッド「高僧の墳墓 Tumba del Gran Sacerdote」等で構成されている。

グアテマラ (GUATEMALA)

「グアテマラ・シティ」Guatemala City 周辺

「ポ波尔・ブフー博物館」Museo Popol Vuh

「イスチェル民俗衣装博物館」Museo Ixchel del Traje Indigena

「国立考古学民族博物館」Museo Nacional de Arqueologia y Etnologia

「ティカル」Ruinas de Tikal

グアテマラ北部のペテン地方のジャングルに埋もれる神秘的なティカルはマヤ最大の神殿都市遺跡として知られる。紀元前数世紀から人が住み始めて、紀元後 300 ~ 800 年にはペテン一帯のマヤの都市を従える大祭祀センターとして栄えた。一時メキシコ北方のテオティワカンの影響を受けるが、テオティワカンの衰退する 8 世紀には最盛期をむかえる。ティカルでは 15.5 平方 Km 地域に、壮大なピラミッドや神殿や宮殿からちっぽけな草葺き屋根の家にいるまで、およそ 3000 の建築が数えあげられている。10 世紀に入ると他のマヤ都市同様に急激な衰退を迎える。いつしか住民は去り、神殿群は熱帯の植物に覆われて緑の海のなかに埋没していった。

「キリグア」Quirigua

「アンティグア」Antigua 周辺

「カテドラル」Catedral

「メルセー教会」Iglesia de la Marced

「レコレクシオン修道院」Convento de la Releccion

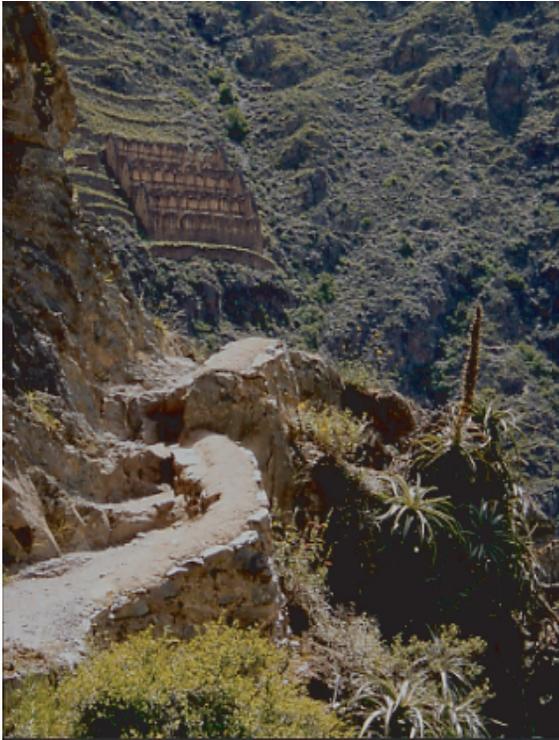
「サンタクララ修道院」Convento de Santa Clara

「カプチナス修道院」Convento de las Capuchinas

ホンジュラス (HONDURAS)

「コパン」Ruinas de Copan

グアテマラとの国境に近いマヤの代表的な最も美しいといわれる都市遺跡。幻想的な不思議な谷のピラミッドの神殿群は人工のアクロポリスの上に建てられている。一部はコパン川の氾濫によって浸食されて崩壊しているが、建造物の大半は依然として昔の面影をそのままとどめている。なかでもひととき目立つのは8世紀に完成された「神聖文字の階段の神殿」で63段の階段は一段一段がマヤ文字の彫刻で飾られ、コパンの王朝史が全部でおよそ2500字におよぶ長文で語られている。マヤ碑文として知られる限り最も長いテキストである。ある部分はテオティワカンの「疑似文字」をイメージしたのも織り交ぜられている。コパンの神官は1年を365.2420日とする算出方法をあみだし他のマヤ都市に広めている。グレゴリオ暦の日数が365.2425だから驚くべき精度といえる。神殿16からは1989年の調査によってロサリラと呼ばれる地下神殿も発見されている。英知を誇ったコパン王朝も9世紀に予定調和のように消え去ってしまう。



オリヤンタイタンボ Ollantaytambo PERU



マチュピチュ Machu Picchu PERU



サクサイワマン Sacsayhuaman PERU



ケンコー Qenqo PERU



リマ 国立人類学考古学歴史博物館
Museo Nacional de Antropología Arqueología
e Historia del Peru



リマ 国立博物館
Museo de la Nacion





テンプルマヨール Templo Mayor MEXCO



チチェンイツァー Chichen Itza MEXCO





国立人類学博物館
Museo Nacional de Antropología
MEXCO





ポ波尔・ブフー博物館
Museo Popol Vuh GUATEMALA





サンヘロニモ教会跡 GUATEMALA



レコレクション Convento de la Recoleccion
GUATEMALA





ティカル Ruinas de Tikal GUATEMALA



コパン Ruinas de Copan
HONDURAS





作品 1



作品 2



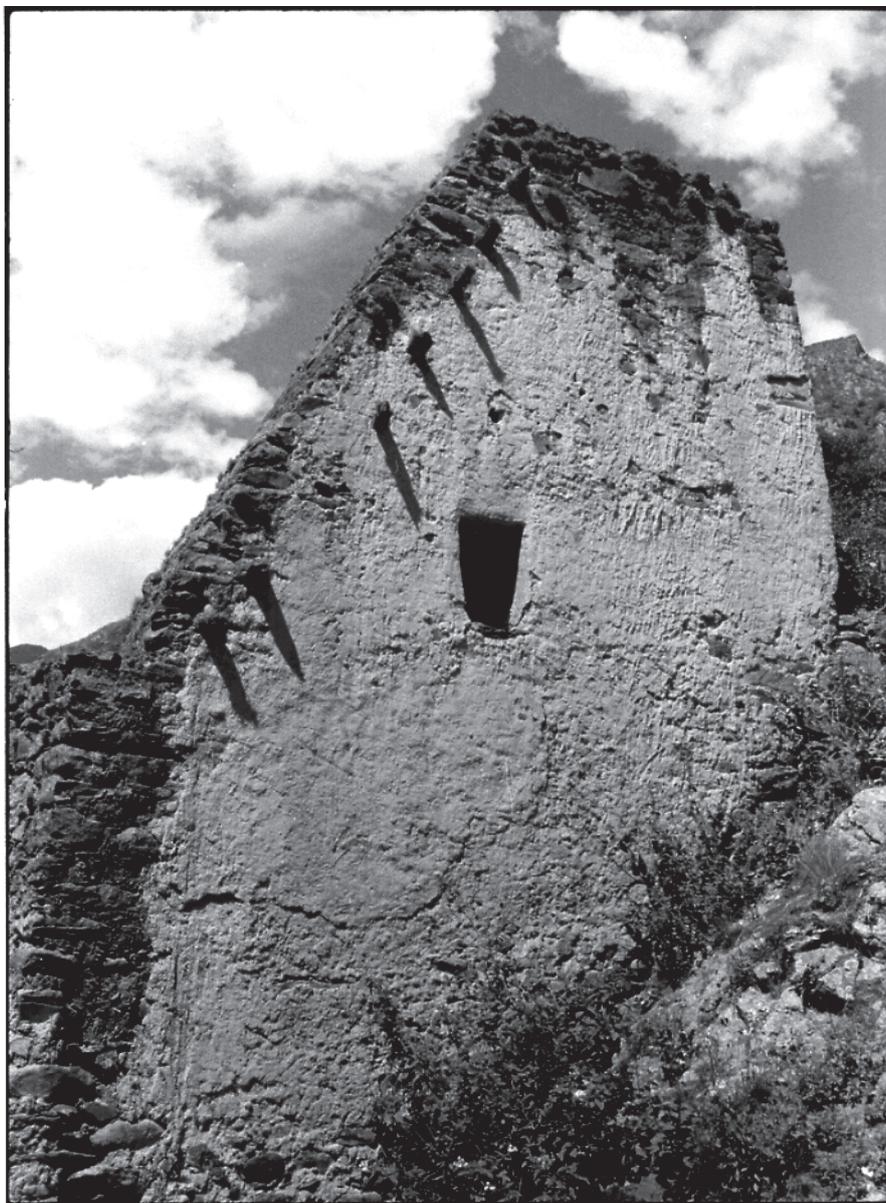
作品3



作品 4



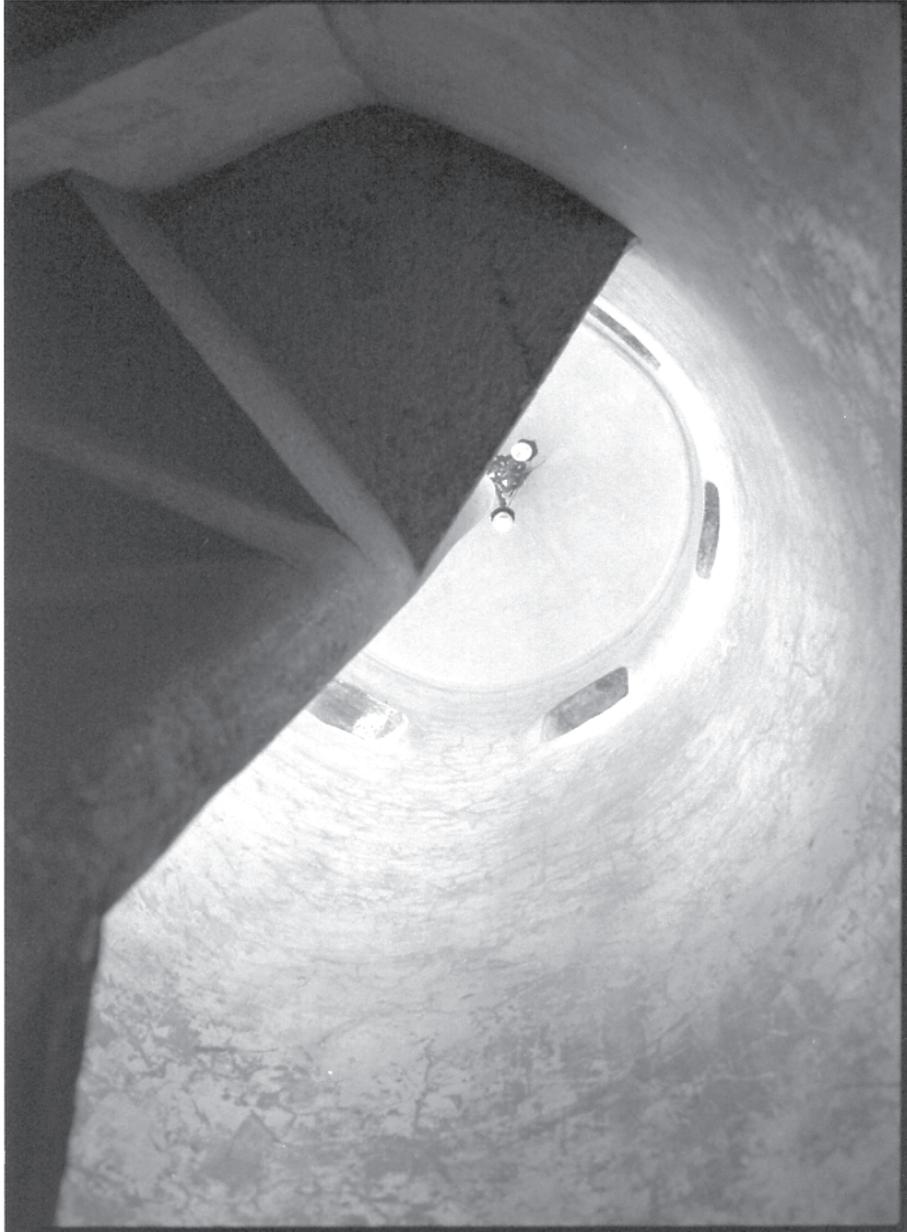
作品5



作品6



作品7



作品 8



作品9



作品10